

インフルエンザを予防しよう

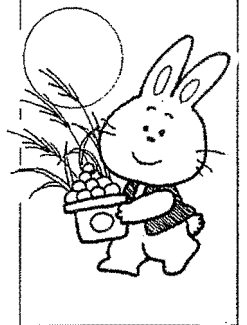
ワクチン(予防接種)のご案内



うがい、手洗いの励行など、
一人一人の注意でインフル
エンザを防ぎましょう!

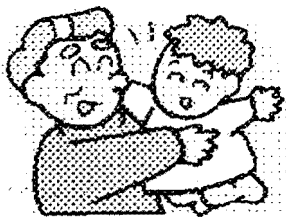


発行責任者
隠岐広域連立
隠岐病院長
隠岐の島町城北町



インフル
エンザは全
身に症状の
出る感染症。

インフルエンザは、インフル
エンザウイルスによって引き起
こされる呼吸器感染症で、普通
の風邪とはまったく違う病気で
す。発熱や頭痛などといっしょ
に、のどの痛みや鼻水など風邪
によく似た症状もみられるため
誤解されやすいのですが、イン
フルエンザの場合、四十度近い
高熱がでるなど全身にさまざま
な症状があらわれます。重症化
すると体力のない高齢者や乳幼
児などでは生命に関わりますの
で、時に注意が必要です。
近年は、治療法も急速に進歩
しているのですが、風邪とは軽視し
ないで医療機関で受診してくだ
さい。



流行するインフルエンザ
のタイプは予測できません。

四十年ほど前の「アジアか
ぜ」、三十年ほど前の「香港かぜ」
など大流行したインフルエンザ
がありますが、もともとインフ
ルエンザウイルスは毎年細かく
姿を変えて出現するものです。
したがって、予防接種用のワク
チンは、毎年流行するインフル
エンザを予測してつくられま
す。近年予測の技術が高まり、
実際の流行とほぼ一致して、優
れた効果を発揮しています。

インフルエンザは、予防で
きます。

■ワクチン(予防接種)の重要性

インフルエンザの予防には、
予防接種が有効です。ワクチン
を投与することで体内に抗体を
つくり、病気にかかりにくくし
たり、かかっても重くならない
ようにするのが予防接種です。

ぜひ、予防接種をお受けくだ
さい。

成人用

インフルエンザ ワクチンについて

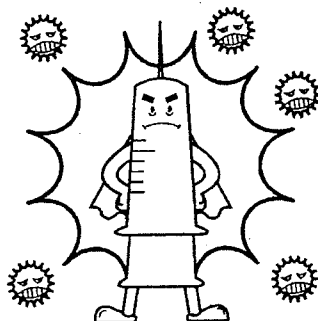
接種をご希望の方はお電話
でも受付いたします。
(11月末まで)

当院では下記日程にて「一般用インフルエンザワクチンの接種」を行います。

☆11月の予定
(12日・16日・19日・26日・30日)

☆12月の予定
(3日・7日・10日・14日・17日)

接種時間 14:00~15:30



接種料金 1,000円 (旧西郷町・旧都万村・旧布施村の65歳以上の方)
4,900円 (上記以外の方)

—接種についての注意事項—

- ① 一般の場合、1回接種となります
- ② 予約当日内科外来にお越しください
- ③ お問い合わせは、医事受付窓口まで

予防接種を受けた後の注意

接種日は、
過激な運動は避けて、
注射部位は
清潔にして
おいてください。



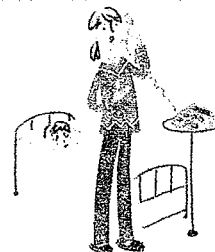
接種日の晩は
入浴しても
差し支えありません。



高熱やけいれんなどの
異常反応や、
体調の変化があれば、
速やかに医師の診察を
受けてください。



まれに30分以内に
急な副反応が起こることが
ありますので様子を観察し、
医師とすぐに
連絡が取れるように
しておきましょう。



遅くなりましたが、十月一日付け採用の新規職員を紹介します。皆様、よろしくお願ひします。

もりやま まさし
森山 政司

(産婦人科部長)



島根県立中央病院より来ています。十数年前に応援医師として何回かこちらへ来ていたことがあります。専門は産婦人科の中でも主に婦人科腫瘍(子宮がん、卵巣がんなど)です。ここでは妊婦の方が中心です。妊婦健診で気づいたことですが、体重増加傾向の方が多いようです。日々の食事に気をつけてください。

うの けいこ
宇野 恵子
(看護師)



十月より二階病棟に勤務していません。宇野です。大阪の病院で三年半、救急部にて働いていました。隠岐病院では、二階病棟で多くの病気の患者さまがいて、今まで経験したことがないことがたくさんあるので、同じ病棟で働く方々に教えてもらい、勉強しながら頑張っています。よろしくお願ひします。



芸術の秋

—マンドリン演奏会—

MUSIC

去る十月十五日、ボランティアグループ・マンドリン同好会の方々によるマンドリン演奏会が、隠岐病院エレベーター前ロビーにて開催されました。短い時間でしたが、病院で療養中の患者さまの気分転換になればと、すばらしい演奏を披露していただきました。



☆女子十二楽坊にも勝るとも劣らない演奏でした。

譜面台との距離が遠いのがちょっと気になりましたが…(笑い)

右より、木井さん、赤沼さん、池田さん、小野さん、八幡さん

嘉村せんせい、 ありがとうございました。

~これからも、
どうぞお元気で~

去る十月二十八日、嘉村先生が嘉村病院を閉院され、奥さまとごいっしょに飛行機で離島されました。

嘉村先生は、昭和四十五年、隠岐病院小児科常勤医として赴任されました。その後隠岐で開業され、一分、一秒刻みのスケジュールで、昼夜を問わず献身的に隠岐の医療を支えてこられました。

しばらくは仕事を離れて休養されるとのことですが、

隠岐空港では、先生との別れを惜しむ人でうめつくされていきましたが、その一人一人に手をとって、声をかけられていました。最後の別れ際、その中のお一人が、みんなの気持ちを代弁するかのよう

「嘉村先生、隠岐の医療の発



▲ (手前)嘉村先生と奥さま

展のために、ありがとうございました。」
と嘉村先生に感謝の気持ちで声をかけられました。
先生と奥さまのますますのご健康を、心よりお祈りいたします。

保険証提示のお願い

保険医療機関では、「健康保険証」の定期的な確認が義務付けられています。毎月最初の受診日に、受付窓口へ提出へ提出されますようにお願いいたします。

また、保険証に変更等がございましたらその旨お申してください。



あとがき

ある本の一節に「運は、呼び込むことも引き留めることもできない。幸運は自らの手で作り出せば、永遠に尽きることは無い。」と記されていました。自分で、こつこつとやるしかないようですね。

前号の「医薬分業について」の記事について「内容が分かりにくい」とお葉書をいただきました。大変、申し訳ございませんでした。医薬分業についてのご質問等がある方は、隠岐病院内 米田幸夫までご連絡お願いいたします。

運動不足

